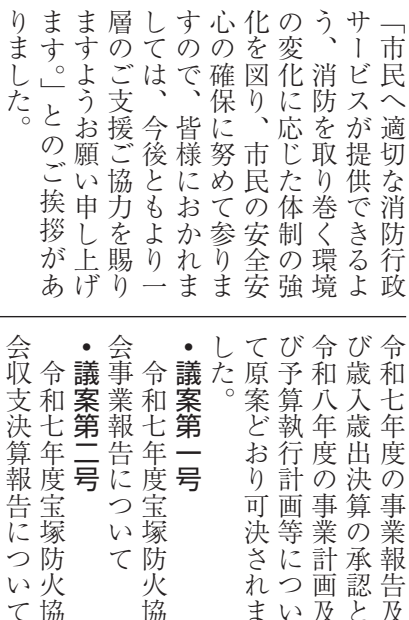


火事と
救急・救助は
局番なしの
119番へ

宝塚防火協会総会の開催



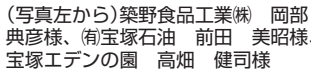
「市民へ適切な消防行政サービスが提供できるよう、消防を取り巻く環境の変化に応じた体制の強化を図り、市民の安全安心の確保に努めて参りますので、皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」とのご挨拶がありました。

令和七年度の事業報告及び歳入歳出決算の承認と令和八年度の事業計画及び予算執行計画等について原案どおり可決されました。

・議案第一号
令和七年度宝塚防火協会事業報告について
・議案第二号
令和七年度宝塚防火協会収支決算報告について

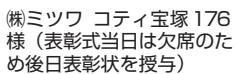
なお、各議案について
・議案第三号
は慎重な審議が行われ、
令和八年度宝塚防火協

兵庫県危険物安全・安心大会

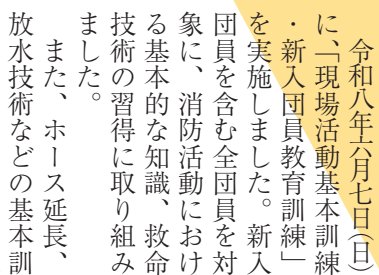
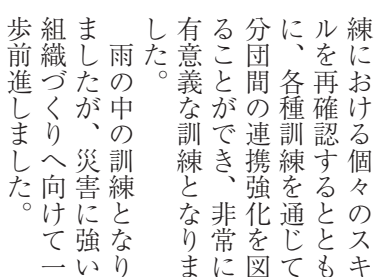
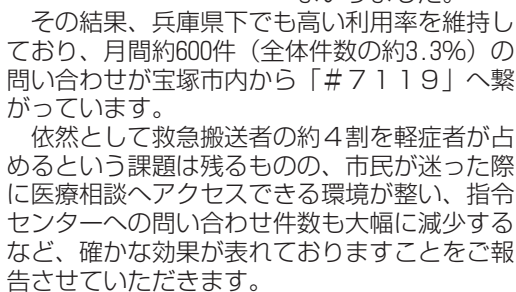


基づく危険物の許可施設を保有されている事業所及び危険物取扱作業従事者に対して、災害防止及び保安管理の徹底に尽力されたことなど、顕著な功績のあった事業所または個人を表彰するものです。

- 一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰個人表彰



宝塚市内の救急件数は、令和6年に過去最多の13,997件を記録し、令和7年には13,507件と490件の減少に転じた。この要因として、感染症や熱中症の発生状況の変化に加え、令和7年7月より開始した救急安心センター事業「＃7119」の普及が大きく寄与していると考え



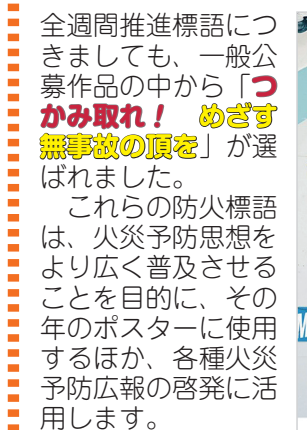
宝塚市消防団現場活動基本訓練
新入団員教育訓練

令和八年六月七日(日)



危険物施設への立入検査を実施しました。また、

宝塚市消防本部・西消防署合同庁舎



令和8年度全国統一
防火標語は、一般公募
作品の中から「**火の確認
いい日を支える
いい習慣**」が選ばれま
した。また、危険物安



全週間推進標語につ
きまして、一般公
募作品の中から「**つ
かみ取れ！ めざす
無事故の頂上**」が選
ばれました。

これらの防火標語
は、火災予防思想を
より広く普及させる
ことを目的に、その
年のポスターに使用
するほか、各種火災
予防広報の啓発に活
用します。

消防吏員を拝命して

(令和8年度採用職員)



(左から) 棚木 志水、向白葵、柏原 温、大西 悠斗、南 海斗、村木 力、志水 志水

南海斗
私は、幼い頃から人の命を救う消防吏員に憧れておりその夢が叶い大きな喜びを感じています。現在は消防学校で日々厳

しい訓練や勉強を行っています。消防学校卒業後は、宝塚市の消防吏員として一人でも多くの命を救い、市民と街を守り誰もが安心して過ごせる宝塚市を作っていきたいと

思います。その為に、消防学校での日々を大切に

志水 向白葵

消防吏員としての生活が始まり、消防学校では必要な知識や技術、規律を身につけるだけでなく、仲間との協調性や困難に立ち向かう精神力も養えるよう日々取り組んでいます。どのような現場においても冷静に広い視野を持ち、柔軟に対応できる職員を目指し、限られた時間の中で一つでも多くのことを学び吸収すること、市民の皆様への心を与え、信頼される消防吏員として宝塚市に貢献していきます。

献していきます。

柏原 温

私は宝塚市で生まれ育ち、学校生活、地域活動を通して多くの方に支えられ育ってきました。高校時代の経験から消防吏員を志し、今まで支えてくださった宝塚市の市民の方々に恩返しをしたいという思いで宝塚市消防本部を志望しました。消防学校を卒業すれば10月から現場に出ます。新人であっても市民の方から見れば一人の消防吏員です。その自覚を持ち、この半年間で基礎を固め、応用力を身につけ、市民の方々から信頼される消防吏員を目指し努力していきます。



令和8年度

救急隊員研修会

練及び臨床思考トレーニングを実施しました。訓練を通じて現場判断、医師との連携、家族対応への理解を深めるとともに、病態把握や認識共有の促進を図りました。メデイカルコントロールに従事する医師も参加し、DN



ARプロトコルの周知

令和8年度

宝塚市消防本部管理隊訓練

管理隊は、大規模災害発生時に消防隊の活動を支援するため、情報収集や関係機関との調整を行う部隊です。訓練では、近年、発生確率が高くなっている豪雨災害を想定し、被害状況の把握、情報共有、応援部隊の的確な配置、関係機関の対応などを確認しました。今後も災害対応能力の

令和8年6月9日(火)に、宝塚市消防本部管理隊訓練を実施しました。



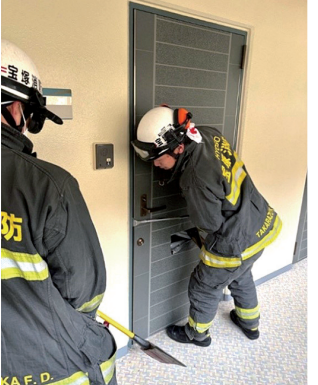
中豪雨による水災害時に備え、水防活動時の万全を期すと共に、現場活動に直結した水防技術の向上を図り、市民生活の安全を確保することを目的として毎年実施しています。



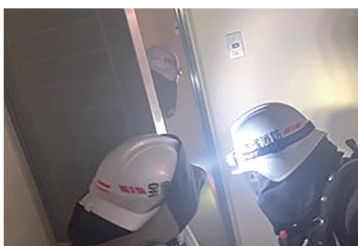
と医療連携の強化を図る有意義な研修となりました。※DNARプロトコル人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への対応プロトコル※メデイカルコントロール従事医師救急活動に対する救急隊へ医学的な指示、助言等を行う医師

「社会福祉法人 聖隷福祉事業団 ウェル・エイジング・コミュニティ 宝塚エデンの園」協力

解体予定建物を活用した実践訓練



令和8年2月26日(木)から28日(土)までの3日間、社会福祉法人聖隷福祉事業団 ウェル・エイジング・コミュニティ 宝塚エデンの園の敷地内において実践訓練を実施しました。この訓練は、解体予定の建物を訓練施設として活用させていただき、基本訓練、火災想定訓練、高所からの救出救助訓練など災害現場に即した訓練を実施することにより、個人技術の強化だけでなく災害現場での連携強化を主眼として実施しました。近年では、多種多様な災害の発生が危惧されており、継続して訓練を実施し災害対応能力の向上に努めてまいります。



幼年消防クラブ引継式・始め式

各幼稚園において、現クラブ員である年長園児から次年度クラブ員になる年中園児に対して、クラブ旗及び法被の引継ぎを行いました。



年中園児は、クラブ員として「火事を起こさないための勉強」、「自分の命を守る勉強」及び防火教室を通じて、クラブ員としての心構えを学びました。今後も、防火啓発活動を通じて幼年期における防火、防災意識の高揚に努めてまいります。



令和8年度

宝塚市消防本部水防訓練

施しました。この訓練は、局地的集



今年度は「マンションのエントランス内に雨水が浸水する可能性がある」との想定で、都市型水害を意識した知識の習得及び工法の習熟を図りました。今後も、市民生活の安全を確保できるよう消防力の向上に努めてまいります。

令和8年5月から6月にかけて、西消防署及び東消防署で水防訓練を実施